豊見城市立学校家族休暇制度に関する保護者アンケート【結果】

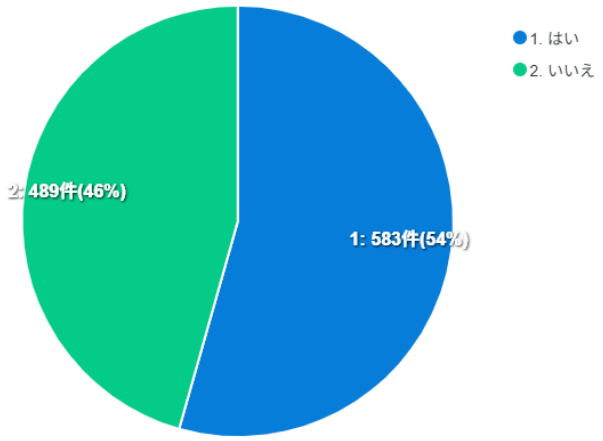
＜アンケートの概要＞

【実施期間】　令和 8 年 8 月 28 日(金)～10 月 16 日(金)

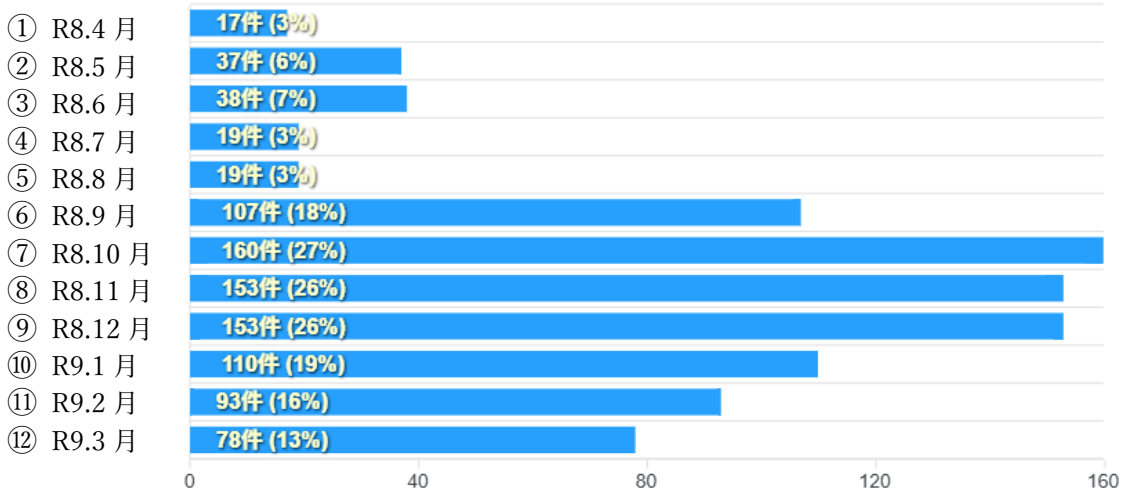
【回答対象】　豊見城市立小中学校に在籍する児童生徒の保護者

【回 答 数】　1072 件

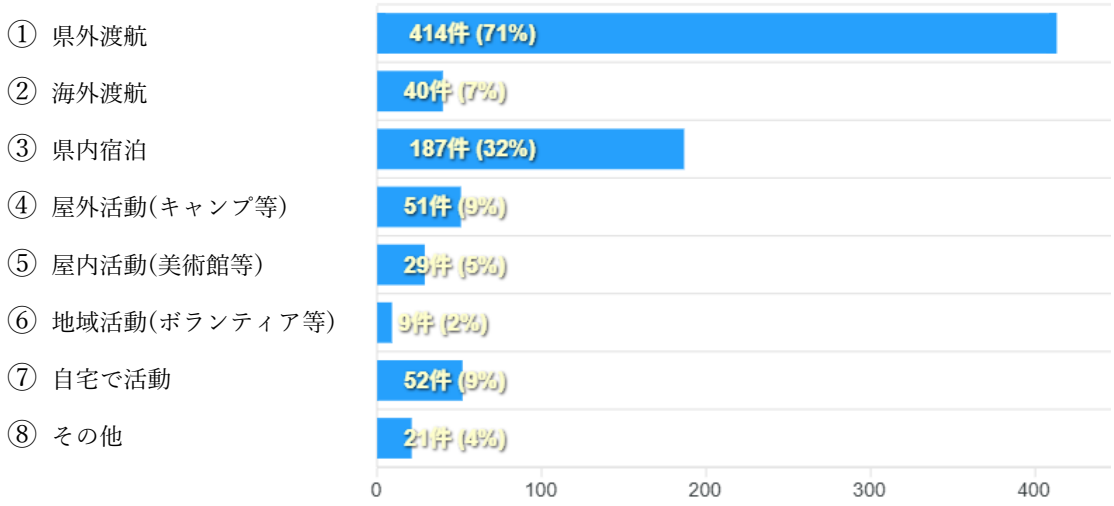
1.「豊見城市立学校家族休暇制度」を利用して家族休暇を取得しましたか・する予定ですか。



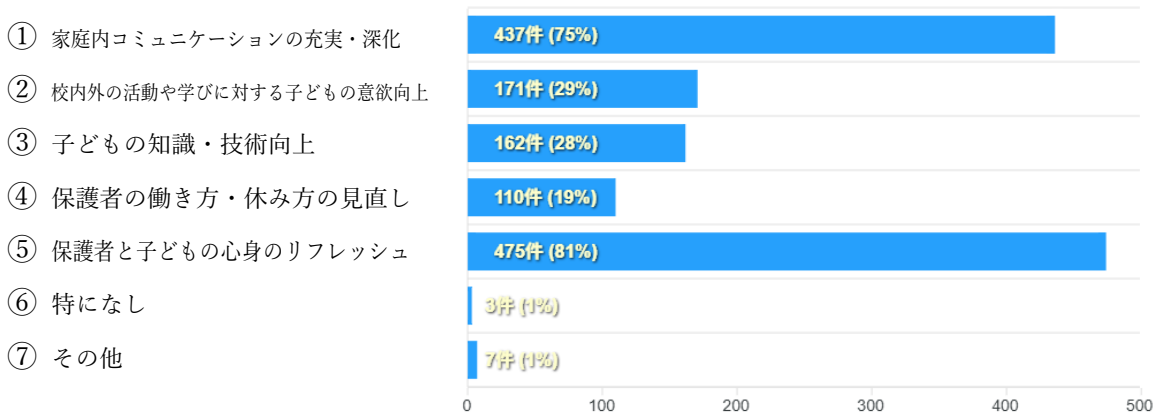
2.（1 で「はい」の方のみ）取得した・する予定の月をすべて選択してください。



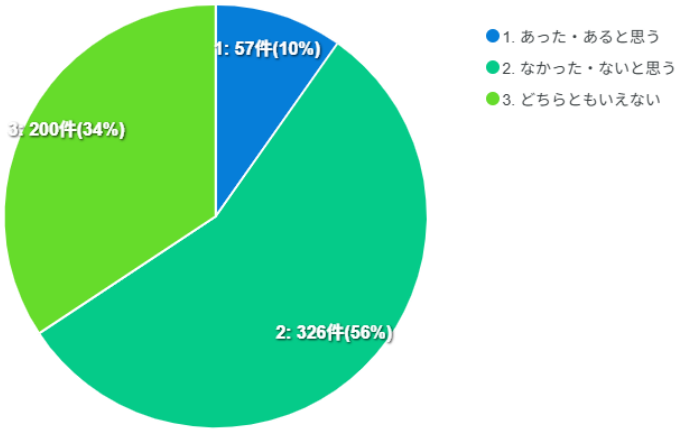
3.（１で「はい」の方のみ）本制度を利用した活動として、あてはまるものをすべて選択してください。



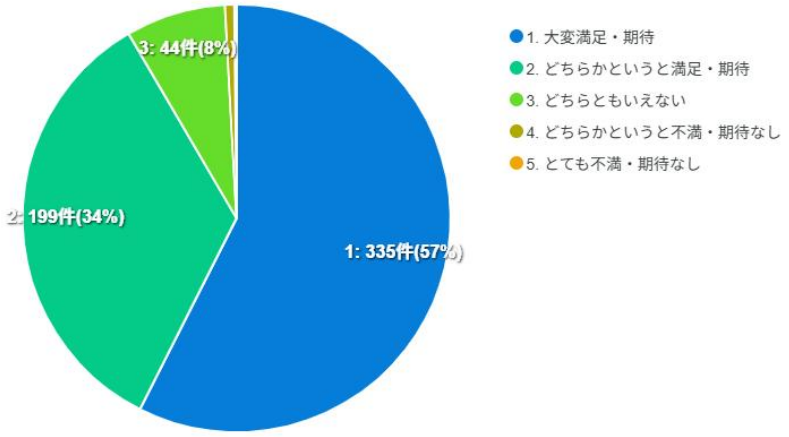
4.（１で「はい」の方のみ）取得してよかったこと、期待することは何ですか（最大３つ）。



5.（１で「はい」の方のみ）本制度で学校を休むことによって、学習の遅れや学習意欲の低下など、お子様の学習に影響はありましたか、あると思いますか。



6.（1で「はい」の方のみ）本制度の満足感・期待度に最も近いものを一つ選んでください。



7. 6の理由についてお聞かせください。
※ 掲載内容は意見や要望が多かった順にまとめています。

1　保護者の仕事都合で土日祝に休みが取りづらいため、平日に家族で過ごせる時間が欲しい

・仕事が土日祝中心、シフト勤務、サービス業などで平日しか休めない家庭が多い。

・これにより家族の予定が合わせやすくなり、貴重な時間が確保できる。

2　欠席扱いにならないため、子どもの学業や内申点への影響を気にせず休みやすい

・以前は家族旅行等での平日欠席が評価に影響すると懸念されていたが、制度で心理的負担が軽減。

・中学生の内申点や受験への配慮としても評価されている。

3　混雑や高額な費用を避けて、平日に旅行や外出ができる

・夏休みや大型連休のピークを避けて、料金や混雑が緩和されるため経済的・精神的負担が減る。

・平日利用による旅行の快適さや家計へのメリットが挙げられている。

4　家族での思い出作りやコミュニケーションの促進、親子関係の深化

・家族が一緒に過ごす時間が増えることで、子どものリフレッシュや親子の絆が深まるとの声が多い。

・学校外での体験や視野を広げる機会としても期待されている。

5　多様化する働き方・共働き家庭に対応していること

・共働きやシフト勤務で週末家族が揃わないケースが増えており、制度が現代の生活様式に合致している。

・保護者の休暇取得と子どもの学校の両立を支援している。

6　平日に休むことへの社会的な抵抗感や後ろめたさが軽減される

・平日休みがまだ世間的に認知されにくい中で、制度化により堂々と休みやすい環境が整う。

・ズル休みのイメージ払拭や休む罪悪感の軽減に繋がっている。

7　学習の遅れやフォロー体制への不安はあるが、それ以上に学校外での経験を重視する声

・学習面の遅れや意欲低下を心配する意見もあるが、貴重な体験や精神面での効果を評価する意見が多い。

・宿題のフォローなど具体的な支援を望む声もある。

8　申請手続きや制度周知への改善要望がある

・申請のタイミング（1 週間前まで等）や申請時の目的記入に戸惑いがある。

・制度が十分に周知されていないとの指摘もある。

9　制度により家族旅行や帰省が計画しやすく、経済的負担軽減につながる

・平日利用で費用を抑えられ、祖父母との交流や県外旅行も利用しやすくなる。

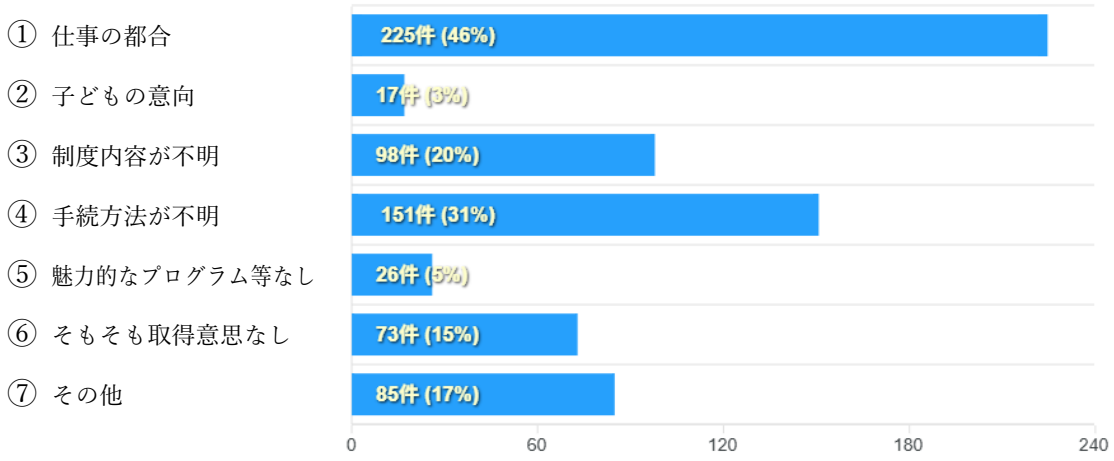
・大型連休や夏休み期間の混雑を回避しての活用が多い。

10　制度があることで家族の精神的な安心感や心のゆとりが生まれる

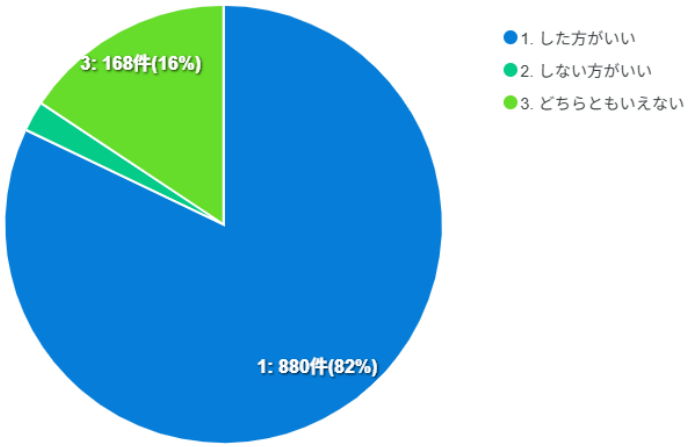
・学校を休むことへの心配が減り、家族全員がリフレッシュできる。

・子どもの情緒・精神面の安定や幸福感向上にも寄与している。

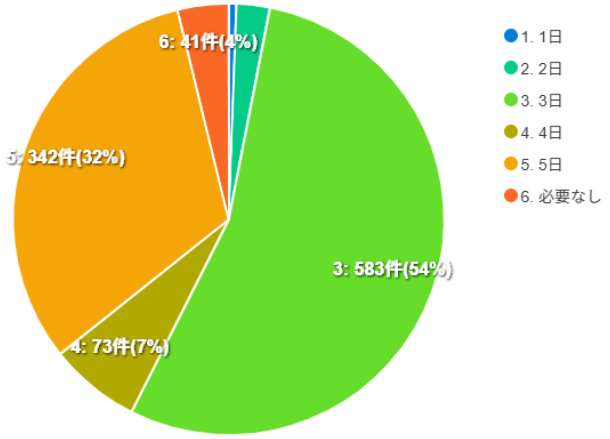
8.（1 で「いいえ」の方のみ）取得しなかった・しない理由として、あてはまるものをすべて選んでください。



9. 令和９年度以降も本制度を継続した方がいいと思いますか。



10. 令和９年度以降も本制度を継続した場合、何日が適当だと思いますか。（現在は３日）



11. 本制度について、ご意見やご要望がございましたら自由にご記入ください。
※ 掲載内容は意見や要望が多かった順にまとめています。

１　制度の認知度向上・周知徹底の要望

・制度を知らなかった、申請方法や利用手順が分かりにくいとの声が多数。

・学校や市からの案内、デジタルツール（アプリ・LINE 等）での周知を求める意見が多い。

２　申請手続きの簡素化・柔軟化の希望

・申請が紙ベースで面倒、１週間前申請の制限が利用しづらいので、前日や事後申請、オンライン申請を望む声が多い。

・申請方法のデジタル化（アプリやネット申請）を求める意見も多い。

3　休暇日数の拡充・利用期間の延長要望

・現行の 3 日間では足りない、5 日以上、複数回利用や連続日数の拡大を希望する意見が多い。

・夏休み等の長期休暇の代替としても活用したいとの声もある。

4　学習の遅れやフォロー体制への懸念と対策要望

・休暇による授業の遅れや学習意欲低下を心配する声が多い。

・休暇中の課題配布、登校後の提出期限延長、オンライン授業の提供などフォロー体制の整備を求める意見が多い。

5　制度の必要性・継続への賛同

・多様化する働き方や共働き家庭に対応した良い制度として継続を強く望む声が多数。

・家族のコミュニケーションや子どもの体験機会の拡大につながるとの評価。

6　経済的格差に対する配慮・支援の要望

・旅行費用など経済的負担が大きく利用できない家庭があるとの指摘。

・経済的に余裕のない家庭向けの補助や学童保育・体験プログラムの提供を求める声もある。

7　休暇取得の実態と保護者の休み取得の難しさ

・子どもは休めても保護者が休めないため、実際の利用が難しいケースが多い。

・企業や職場の理解・協力、保護者の休暇制度の充実も必要との意見。

8　休暇の使い方や目的の多様化についての意見

・家族旅行以外に帰省、スポーツ遠征、文化体験、親子のリフレッシュなど多様な利用目的があること。

・制度の趣旨を広め、家族休暇の過ごし方の例示や情報提供を望む声もある。

9　制度の改善・運用に関する具体的な要望

・申請書類の簡素化、学校行事と重ならない配慮、取得可能日や不可日を早めに知らせてほしい。

・欠席扱いに伴う不安軽減のため、学校側の説明や対応の明確化を求める声もある。

10　一部反対意見・制度の意義に対する疑問

・学業優先の観点から、休暇取得に否定的な意見や、欠席扱いで問題ないとの声も一部見られる。

・制度のメリット・デメリットの明確化が求められている。